

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和4年3月11日

事業実施地区	川中島町
事業名	家族で考えよう！家庭の防災力を
団体名及び 代表者名	(団体名) Mama Hands (代表者名) 山岸 里絵 (連絡先) 090-7202-2132

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

「ハザードマップ」を活用して居住区の災害特性を確認し、その上で家庭ではどのようなものを備える必要があるのか、家族構成により必要となる備えが異なることや、部屋の安全確保はどのような方法があるかを学ぶ。また実際に防災用品を見て・触って・使用方法を確認して、家庭の防災力・防災意識の向上につなげる。	【事業完了日】 令和4年3月10日
【活動写真】 別添	【総事業費】 100,487円
	【補助金額】 100,000円

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>○ワークショップの告知は川中島公民館周辺の小学校にチラシを配布し、以下の参加者を集めることができた。</p> <p>2021年10月9日参加者 5組 子ども10名、大人5名（川中島公民館）</p> <p>2021年11月13日参加者 5組 子ども5名、大人5名（川中島公民館が清掃のため使用できず三本柳地区センターにて開催）</p> <p>※2022年1月と2月に予定していた開催は長野市内での新型コロナ感染者数の増加により中止</p> <p>○ハザードマップを使いながら、ハザードマップに記載されている情報の説明、それぞれの居住地の地域特性に応じた災害リスクの確認、また災害が起きた場合を想定し近隣の避難所の確認などを行った。自分で確認することにより、自宅周辺にはどのような災害が起きる可能性があるか、避難所までどのくらい距離がありどのように行けばよいかなど、いざという時に必要な情報を明確に認識することができた。</p> <p>○0次の備えとしての「防災ポーチ」、1次の備えとして「非常用持ち出し袋」、2次の備えとして「家庭内備蓄品」と場面に応じた備蓄品および防災用品を実際に用意し、参加者に「見て・触って、使って」もらった。ママハンズが提案する備蓄品および防災用品を元に家庭での備えについて考えてもらい、家族構成や特性に合わせて備える必要性、備蓄品だけでなく「減災への備え」も重要であることを伝えることができた。</p> <p>○災害用携帯トイレがどのくらい水を吸収するか？という実験や、アルファ米の試食を行うことで子供も大人も楽しく防災用品に親しむことができた。ワークショップ後にとったアンケートでは複数の参加者から「防災用品を実際に使ってみたことで防災用品が身近なものになり、自宅でも備えてみようという意識が高まった」という感想をいただいた。</p> <p>○9月13日に昭和小学校の銭谷教頭先生よりお声がけいただき、先生方に向けて「ママハンズの取り組み～子供命を守るために～」というミニ講座を行った。子供を守ることを業務として</p>

いる先生に向けて「なぜ子供に対して防災教育が必要なのか」から「子供を持つ親だけではなく地域の大人が防災に関心を持つことの重要性」を説明し、今後の小学校での防災教育につなげていただくための大変有意義な活動を行うことができた。

○11月8日に三本柳の「にっこりひろば」にて「防災はじめてトーク」を開催。3組の申し込みがあり。短時間開催であったが要点を絞って備えることの重要性を伝えることができた。また参加者との距離が近く、個々で感じている疑問にお答えすることができ防災に対する不安の解消につながった。ご好評をいただき継続的に同講座を開催することとなった。

○12月9日に長野市真島保健センターにて、乳幼児がいるお母さん向けの防災ミニ講座（10分）を行った。子供ができたばかりのお母さんに向けて防災とはどういったものかを簡単に説明し、お母さんに知ってほしい備蓄できる液体ミルクについても説明した。また令和4年3月1日に同講座を行う予定であったが、コロナ蔓延防止のため中止となった。

○12月26日に長野市少年科学センターにて防災学習を開催。3組の申し込みがあり家庭で備えることの大切さを伝えた。また防災工作として段ボールベットの組み立て、ダンボールで作成できる椅子の工作も行い、参加者に好評であったため主催者様より3月末までにもう一度開催してほしいとの要望があったが、コロナ蔓延防止のため中止となった。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容			○	
事業の効果	○			
特記事項 （評価理由等）	本事業を通じて多様な施設・多様な世代へ防災の重要性を伝えることができた。来年度以降も継続して防災講座の打診を頂戴している。			

■今後の取組予定

本事業は今後も継続して活動をしていく予定。

また、小学校の学年ごとの防災カリキュラムを現在作成中、出来次第 川中島町の各小学校に提案していく予定。

また三本柳にあるにっこりひろばさんにて、定期的に防災講座を開催する予定